

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 ドリーム	代表者	理事長 金子 敏	法人・ 事業所 の特徴	平成23年3月に、旧越路町で初めての小規模多機能型居宅介護として、住み慣れた地域で在宅生活をしながら「小規模多機能型居宅介護」の特性である柔軟で臨機応変なサービスを利用できる。家庭的な雰囲気の中、顔見知りの職員が自宅にも訪問し、使い慣れた環境の施設で通いやお泊りも実施している。 施設の環境として、農村住宅地にあり、事業所の畑もあるのでご利用者・職員とで野菜の収穫などに行きながら、周辺住民の方ともあいさつやお話し合える関係性を築いている。認知症のご利用者・ご家族から、在宅生活に不安を感じられる方も多く、併設の認知症対応型グループホームもあるので、随時相談にのっている。独居や老々世帯のご利用者も多く、緊急時や災害時に遠方のご家族も安心してご利用頂けるように定期的に近況報告や連絡をとるように努めている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 あおぞら館	管理者	五井 奈央		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	2 人	1 人	1 人	1 人	人	3 人	人	10 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	次期の自己評価の実施時期は本年度同様、7月末までに行なう。今後も管理者を中心に、計画に対する取組みを定期的に（ミーティングや定例会議などを活用して、職員間で日頃より意識していく。	令和2年7月に自己評価実施。パート職員も自己評価を実施し話し合いにも参加した。	今年度は、事業所自己評価・ミーティング様式の4・5・8の項目について特に力を入れて職員間で取り組んでいく。ご利用者が地域との繋がりを大切にし、ご利用者の望む暮らしの意向を考える機会を持つ。	自己評価を行う時期は次年度7月末までに行う。今後も管理者を中心に、計画に対する取組みを定期的に話し合う場（ミーティング、定例会議など）を活用して、日頃より意識していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	ご利用者やご家族へ新型コロナウイルス感染症の予防対策へのご理解とご協力を得られるように、送迎時や電話連絡などをとってコミュニケーションを図る。新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、レゾナカフェの開催等を報告する。	ご利用者やご家族に向けて、新型コロナウイルス感染予防に関するお願い等の文書や、厚生労働省より要項が届いたら職員にも回覧して周知し、ご利用者やご家族が安心して過ごして頂けるよう努力している。職員、ご利用者は1日2回の検温、シルバー人材の方、来客の方も体温や体調確認を行っている。マスクや食席にも配慮している。	玄関には季節を感じてもらえるような装飾品や、法人内の新聞、最新の情報などを掲示している。四季を感じられる壁画をご利用者・職員とで作成している。レゾナカフェのある日はのぼりを立てて入りやすいよう工夫している。	引き続き、ご利用者やご家族に新型コロナウイルス感染症等、予防対策へのご理解とご協力が得られるように、細目に案内文を出し、送迎時や電話連絡などをとってコミュニケーションを図る。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ、体調や感染状況を見てご利用者と職員と地域行事などを行っていく。 ※8月夏・クリーン作戦(春・夏)</p>	<p>クリーン作戦は春・夏共にご利用者と職員とで参加出来た。その他の運動会やお祭りなどは新型コロナウイルス感染症の予防の為に中止していたが、R4年1月のさいの神は開催予定。ホヅカフェの代表番号が小規模の電話番号になっているため、ご利用者以外のご家族からの相談の電話が入ることがある。</p>	<p>越路地域全体では介護を必要としている方や、関係機関でないと小規模を知られていないが、送迎車にあおぞら館の名称が付いている為、地域の方から声を掛けてもらうことがある。クリーン作戦には参加出来たが、コロナ禍で行事の実施や町内行事への参加はできなかった。以前ご利用されていた方から、現在も事業所に連絡があり、相談事などの話を伺っている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の予防対策をし、体調や感染状況を見てご利用者と職員と地域行事への参加をしていく。送迎時や散歩、外出時には近所の方にきちんと挨拶をし、気軽に話し合える関係づくりに努めていく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、天気をみて外気浴や散歩にでかけたり、密にならない程度の人数でドライブに行く。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら少人数でドライブへ行ったり、外気浴を行っている。夏祭りや運動会は中止になったが、春・夏のクリーン作戦にはご利用者、職員とで参加した。新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、ホヅカフェの開催は中止し、チラシ配りの働きかけもしていない。</p>	<p>ホヅカフェを通じて、電話相談は随時受け付けている。 今年度も越路地域勉強会に職員が参加し、研修で学んだことを内部研修に繋げていきたい。</p>	<p>ホヅカフェの問い合わせの際に、相談があった時は、別の相談窓口もある事をきちんと伝えていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>包括支援センターと連携を取りながら、職員の自己研鑽として事例検討会などを計画し今後の業務に活かす。</p>	<p>R3年5月の運営推進会議は新型コロナウイルス感染症の予防のため開催を中止し、構成員の方々からは、照会にてご報告をさせて頂いた。運営推進会議を通じて、地域の方(常会長・民生委員)との話しが出来るので、地域の防災訓練など計画があれば一緒に参加させてもらいたいことを伝えた。</p>	<p>今後も越路地域勉強会に参加をしていってほしい。 ご利用者以外の電話相談があった時や、体調が悪く利用できなくなった時などは、他の施設を提示し、金額や次につなげる説明ができるとう良い。</p>	<p>今年度は、事業所内で事例検討会をR3年12月に行い、職員のスキルアップをし、今後の業務に活かす。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>定期的な避難訓練では、実践的な訓練を行っていくが、事業所の防災計画や、マニュアルの見直しや職員への周知を行っていく。</p>	<p>毎年5月に越路出張所の消防士を招いて、避難訓練・水消火器訓練を行っているが、新型コロナウイルス感染症の予防の為に中止し、R3年10月28日に実施した。</p>	<p>地域の防災訓練は平成28年(2016年)10月30日に行ったがそれ以降は行っていない。</p>	<p>年2回の避難訓練はきちんと行い、事業所の防災計画やマニュアルの見直しをR4年2月の会議のテーマとして職員が確認する機会を設ける。</p>